「東久留米の戦争の記憶」を調べる

太平洋戦争中の久留米村には、軍の通信施設や東久留米駅から近くの軍需工場に向けて資材を運ぶ線路などがあり、都心からは市内の施設に子どもたちが疎開してきました。戦争の記憶が薄れようとしている今、かつて東久留米市内にあった戦争の遺跡や戦時中の人々の暮らしについて知りたいときの参考にご利用ください。

●軍事施設などを知りたい

『東久留米の戦争遺跡 戦争の惨禍を語り継ぐために　東久留米市歴史ライブラリー１』
山﨑 丈／著（東久留米市教育委員会 2019 年）【請求記号：HH/213.65】
東久留米市内に残る戦争遺跡を、写真や資料に基づき詳細に解説しています。「語り継ぐ」の項では体験談などが綴られ、当時の様子もわかります。戦後の不発弾処理についても解説されています。

『東久留米の近代史 明治・大正・昭和前期　東久留米のあゆみ 第３巻』
東久留米市教育委員会／編（東久留米市教育委員会 2012 年）【HH/213.65】
東久留米の近代の概略をわかりやすく解説している資料です。第三章では太平洋戦争中の久留米村の様子が解説され、戦後建立された市内の慰霊碑についても紹介しています。

『日本陸軍の通信諜報戦 北多摩通信所の傍受者たち』鳥居 英晴／著（けやき出版 2011 年）【HH/391.6】
市内にあった陸軍の通信施設「陸軍北多摩通信所」について、詳細に解説しています。

『大本営が震えた日』吉村 昭／著（新潮社 2003 年）【HH/213.65】
太平洋戦争が開戦するまでの様子を描いたドキュメンタリーです。市内の「陸軍北多摩通信所」や「海軍大和田通信隊」の様子も描かれています。

『鉄道ピクトリアル 2013 年 12 月号　西武鉄道』（電気車研究会 2013 年）【HH/686】
「東久留米駅構外線と中島航空金属」の項では、たての緑地になる前の線路跡の写真なども多数収録され、構外線が設置された経緯や廃線後の動向などがわかります。

『郷土資料室通信』東久留米市郷土資料室／編（東久留米市教育員会 2009 年~）【HH/213.65】
No.24～No.33 では「東久留米の戦跡」をテーマに、市内の戦争遺跡について詳細に解説しています。旧跡に指定されている遺跡については、**東久留米市ホームページ**の**トップページ＞市政を身近に＞市の紹介＞文化財**（https://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/profile/bunkazai/1002402.html） にも解説があります。

●東久留米の空襲被害を知りたい

『東京大空襲・戦災誌 第３巻』
『東京大空襲・戦災誌』編集委員会／編（東京空襲を記録する会 1974 年）【H 東京/210.75】
全５巻からなる『東京大空襲・戦災誌』の第３巻は日米公式記録を編集したもので、東京の各所に落とされた空襲被害状況がわかります。

『多摩の空襲と戦災』小沢 長治／著（けやき出版 1995年）【HH/210.75】
多摩地区の軍需工場と空襲の状況について解説されています。
戦後の不発弾処理については**『広報ひがしくるめ縮刷版』**No.1~No.4（東久留米市 1984~1985年）【HH/318.5/(最初に収載されている広報の刊行年)】【H18/318.5/(同)】、**『空襲通信 第26号』**(空襲･戦災を記録する会空襲通信編集委員会 2024年)【HH/210.7】をご覧ください。
＊空襲の爆撃痕は、**国土地理院ホームページ**の**地図･空中写真閲覧サービス**
（https://service.gsi.go.jp/map-photos/app/map?search=photo）でご覧いただけます。

●学童疎開・人々の暮らしについて知りたい

『学童疎開の記録 1』『同 2』『同 3』全国疎開学童連絡協議会／編（大空社 1994年）【D372.1】
全５巻からなる『学童疎開の記録』の１～３巻は、都心で生活していた児童がどの地域に疎開したのかなど、学童疎開の様子がわかる資料です。

『多摩のあゆみ 第91号　多摩の戦時疎開』
たましん歴史・美術館歴史資料室／編（たましん地域文化財団 1998年）【三多/213.65】
「行政文書にみる多摩地域の学童疎開」の章には、市内にあった久留米学園の規模や様子が報告されています。

『多摩のあゆみ 第119号　戦時下の地域社会』
たましん歴史・美術館歴史資料室／編（たましん地域文化財団 2005年）【三多/213.65】
「北多摩郡への学童疎開」の章では、久留米村など北多摩郡が受け入れた学童疎開について報告されています。

『目で見る西東京・東久留米・清瀬の100年』根岸 正／監修（郷土出版社 2003年）【H三多/213.65】
戦時下の写真も収録されています。
当時の様子を写した写真は**『北多摩の昭和』**（いき出版 2022年）【HH/213.65】でも紹介しています。

『東久留米市立第一小学校創立百周年記念誌』東久留米市立第一小学校創立百周年記念事業協賛会／編
（東久留米市立第一小学校創立百周年記念事業協賛会 1985年）【HH/376.2】
戦時中の久留米村の小学校に在籍した人たちの座談会が収録され、当時の生徒たちの生活がよくわかります。

『戦争期少女日記 自由学園・自由画教育・中島飛行機』
高良 真木／著（教育史料出版会 2020年）【HH/916/ｺ】
自由学園の生徒だった著者が書いた日記です。学徒動員先の中島飛行機武蔵工場での生活について詳しく書かれています。戦時中の自由学園の様子は**『自由学園80年小史』**（自由学園出版局 2001年）【HH/376.4】や**『川田文子さんのこと』**（自由学園出版局 2022年）【HH/281/ｶ】などもご覧ください。

『東久留米と戦争 戦後70年を迎えて　語ろう！東久留米 2』
『東久留米と戦争 村の生活　語ろう！東久留米 3』
東久留米市立中央図書館／編（東久留米市教育委員会 2016年(2)、2017年(3)）【HH/213.65】
戦時中に市内で生活していた人や市内に学童疎開してきた人の体験談、戦後の市内の様子などが語られています。また、戦後の不発弾処理の様子についても語られています。

（インターネット情報の最終確認日：2025（令和7）年7月1日）